Newsletter

日本養護教諭養成大学協議会

Vol.44 2021.3.26

日本養護教諭養成大学協議会
ニューズレターVol.44
会　長　遠藤伸子（女子栄養大学）

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 目　次 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協議会副会長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・1
各種委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・2
トピック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
協議会活動報告・退任にあたって・・・・・・・・・・3
関係団体連絡会活動報告・・・・・・・・・・・・・・4
事務局からのお知らせ・編集後記・・・・・・・・・・4

副会長あいさつ

ニューノーマル時代を見据えて

副会長　池添志乃
（高知県立大学）

桜の花の便りが届く頃となりました。会員校の皆様におかれましては新年度の準備などご多用の日々をお過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックで世界は大きく変わり、今までとは異なる新たなライフスタイル、ニューノーマルに移行すると言われています。ニューノーマルとは2008年以降の世界金融危機のときに経済学の分野において使用されてきた用語であり、非日常が新しい常態になるという文脈で使われた概念です。新型コロナウイルスの感染拡大を機にニューノーマルという言葉が聞かれるようになり、新しい日常への変化は、教育および学術研究の分野においても様々な影響をもたらしました。

感染拡大防止のための臨時休業措置や感染リスクを考慮した学校生活と環境整備、オンライン化やデジタル化といった授業形態の転換などさまざまな形で教育活動への影響がみられています。そうした影響は、大学教育においても同様です。あらためていかに学生の「教育への権利」を守り、「学びの保障」「安心・安全の保障」を行っていくことが必要かという学生個々の権利の保障、大学教育の意味を問い直すきっかけになったように思います。

研究活動においても様々な影響がみられています。「新型コロナウイルスによる学術研究への影響及び支援ニーズに関するアンケート調査」（文部科学省，2020）によると、研究体制の縮小や知見交換の停滞、研究活動の圧迫、地域・領域等による研究格差などが報告されています。また行動規制や接触制限による影響で人を対象とした研究の実施が困難となるなど、研究活動に現在の社会状況が大きく影響していることも示されています。一方で、コロナ禍以前と比較して、「文献の検索および閲覧に費やす時間が増えた」、「論文の執筆・投稿に費やす時間が増えた」といった研究遂行上の肯定的な変化についての報告もあります（ResearchGate，2020）。遠隔による学会・講習会のメリットを体験したり、ICTを活用して国内の研究者間でのコミュニケーションが取りやすくなったりするなど、ICT化の促進に伴う肯定的な変化も示されています（日本看護科学学会，2020）。これらは新しい生活様式のなかでの行動変容の表れともいえます。

以上のように、COVID-19は、教育者、研究者としての営みに多大なる影響を及ぼした一方で、新たな教育や研究の在り方について熟考する契機となり様々な経験知が得られたのではないかと考えます。今なお、感染リスクを常に考慮した、いわゆる「新しい生活様式」に基づいたニューノーマルの中での生活が続いています。これまでと変わらない日常を大切にしながら、ニューノーマルにおける新たな教育、研究活動をいかに発展させていくかが今後、いっそう問われてくるのではないでしょうか。

ニューノーマルの中で養護教諭養成にかかわる教育や学術研究を推進していくことは学校教育の質の向上を図っていく上でも重要なことであり、本協議会の使命でもあると考えます。養護教諭養成大学における教育、研究について、コロナ禍の今だからこそどのような変革が必要なのかを見据え、その発展に向けて尽力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

各種委員会活動報告

「養成制度検討委員会」「カリキュラム検討委員会」活動報告

委員長　大川尚子（京都女子大学）

教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会では、昨年度、これまでの検討委員会の成果を生かして、各大学の養成教育へ生かすことのできる本協議会独自の「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」を作成しました。

「養大協版コアカリ2020」は授業内容の70％を網羅する到達目標を提示し、コアカリキュラムの内容を各大学の養護教諭養成課程のカリキュラムの中に盛り込むことが重要と考え、残りの30％で各大学の独自の内容を盛り込んでいただきたいと考えています。

この「養大協版コアカリ2020」を活用することで、どのような学問体系を基盤とする養護教諭養成課程においても、養護教諭が卒業時に習得しておくべき力の明確化を図ることができ、養護教諭の資質の担保につながると考えます。

また、本協議会として、「養大協版コアカリ2020」を公表することは、教育系、看護系、学際系が加入する協議会の合意で出すものであり大きな意義を持つと考え、今後、さらに周知を図ると共に、定期的に修正を実施していく必要があると考えています。

今年度の検討委員会の活動は、コアカリキュラムの効果的な活用方法を検討するとともに、コアカリキュラムの周知、情報の拡散を狙って、学会発表や学会誌投稿をする方向で考えました。コロナ禍で多くの学会が中止やオンラインとなりましたので、学会発表は今後の課題とし、今年度は学会誌投稿に取り組みました。コアカリキュラムの効果的な活用方法のご提案は、2020年度の活動報告書でご報告させていただきます。

この場をお借りしまして、養成教育セミナーやワークショップ等で多くのご意見をいただきました会員の皆様のご協力に、検討委員ならびに役員一同、深く感謝申しあげます。

「ＦＤ検討委員会」　活動報告

委員長　　松枝睦美（岡山大学）
副委員長　鎌塚優子（静岡大学）

FD検討委員会の2020年度活動は、メール・Zoomを中心に実施しました。「実践力を高める演習の進め方－教職実践演習で展開する－」をテーマとした活動は今期が最終年度であり、養成教育セミナーでオンライン演習としてホームページに掲載させていただきました（ニューズレターVol.43で報告）。オンライン演習に関するご意見および質問および、協議会HPの会員限定ページのID・パスワードのお問合せは、引き続き2018-2020年度FD検討委員会メールアドレス（nyydkfdr2018.2020@gmail.com）にお願いします。

オンライン演習セミナーの成果として、①コロナ禍の対応でオンライン授業の準備・スタートに追われる中で、汎用性のあるソフトを活用した演習方法であったこと、②対話を重視したオンライン演習内容であったこと、 ③テーマが会員に共通した課題であったこと、④目標から評価までパッケージ化した教育プログラムとして準備できたことにより、基本的な力量形成のプロセスが示せたこと、⑤カリキュラム検討委員会作成「養護教諭養成課程コアカリキュラム（養大協版）2020」との関連を示せたこと等があげられました。さらに、本セミナーから、オンラインの利点を生かした学校現場や行政機関とのネットワークを活用した具体的な連携・協働の演習展開の検討や、動画や記録による演習リフレクションにより具体的な相互評価の活動も可能であると考えられました。

2021年3月末に、活動の総括と会計報告を実施する予定です。会員校の皆さまには今期のFD検討委員会活動のへご協力とご支援、ならびに養成教育セミナー演習プログラムをご活用いただきアンケートやメールで様々なご意見ご要望をお寄せ下さり、ありがとうございました。

FD検討委員ならびに理事一同、深く感謝申し上げます

〔トピックス〕

中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指してが出されました

亀崎路子（杏林大学）

令和3年1月26日に中央教育審議会より公表された『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』をホームページに掲載しました。ここでは、養護教諭に関連する話題を紹介いたします。

第Ⅰ部総論では、「令和の日本型学校教育」は、急激に変化する時代の中で「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成すること」を目指すという姿が述べられています。一方「子供の頃から各教育段階に応じて体力の向上、健康の確保を図ること」などは、どのような時代であっても変わらずに重要であることも記されています。

また、子供たちの知・徳・体を一体に育んできた「日本型学校教育」を評価し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学校は人と安全・安心につながることができる居場所・セーフティネットとして身体的、精神的な健康を保障するという福祉的な役割を担っていることが再認識されたことなどが記されています。

第Ⅱ部各論では「生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力を育成するための方策」において「健康を保持増進する全ての活動を担う養護教諭を適正に配置し、養護教諭の専門性や学校保健推進の中核的役割、コーディネーターの役割を発揮し、組織的な学校保健を展開する必要があり、そのためにも養護教諭の無配置校をなくしていくべき」ことが示されています。他に、医療的ケアが必要な子供への対応について、担任や関係する医師、看護師などとチームを編成し、一丸となって実施体制を構築していくことが重要であることが述べられていました。以上、参考にしていただければ幸いです。

今後のホームページに関するご意見、ご要望などは広報・渉外委員会までお寄せください。

協議会活動報告

第6回役員会

日時：2月28日（日）9時30分～11時50分
（オンライン開催）
＜出席者＞池添、遠藤、大川、鎌塚、亀崎、下村、鈴木、竹鼻、松枝、三森　司会：池添、記録：松枝
＜協議事項＞①事業活動報告書2020年度の発行計画案の検討 ②2021年度会員登録及び会費請求書の検討 ③基本調査について内容の検討 ④総会、セミナー、フォーラムの方法・内容案について意見交換 ⑤委員会メンバーの募集についての検討 ⑥ニューズレター発行計画（No.44）
＜報告事項＞：①各委員会の活動報告：養成制度検討委員会、カリキュラム検討委員会、FD検討委員会、広報・渉外委員会からの活動報告がなされた。②会員校等の状況：2020年2月27日現在の会員校は137校であることが報告された。③養護教諭関係団体連絡会報告　文部科学省への要望書提出予定であることが報告された。④2020年度決算報告（2月22日現在の中間報告）

文責：鎌塚

退任にあたって

下村淳子（愛知学院大学）

2021年3月31日をもって4年半の役員としての務めを終えることができました。2016年9月に途中交代として役員に就任し、最初の１年半は庶務担当として、後半の３年間は会計担当として協議会の運営に携わらせていただきました。

庶務担当では、会議録の管理や活動報告書のとりまとめを行う中で、協議会の果たしている活動の意義や詳細を知りました。2018年度以降は会計担当をさせていただきました。ちょうど年会費が３万円となり、協議会の運営に少し余裕ができた頃です。しかし、今年度１年間はコロナ禍にあって、セミナーも役員会も委員会活動もすべてオンラインになりました。交通費や会場費をかけずとも、オンラインでつながれる新しい会議システムが普及したことは、値上げをお願いした会計担当者として少々複雑な気持になります。それでもコロナ収束後には、会員校の皆様と対面でお会いできることを心待ちにしています。今後は１会員として協議会の活動に積極的に関わらせていただきます。次期役員の皆様には、引き続きお世話になりますがどうぞよろしくお願いします。

日本養護教諭関係団体連絡会活動報告

会長　遠藤伸子(女子栄養大学)

日本養護教諭関係団体連絡会[1]は、「養護教諭の養成・採用・研修等に関する施策の提案と実現に向けた取り組みを行うこと」を目的として設立された会で、本協議会は連絡会の副会長を務めています。なお、2月20日に日本養護教諭関係団体連絡会のホームページ[2]ができましたのでご覧ください。昨年9月にご協力戴きました「養護教諭のコンピューター環境調査」の報告も掲載しています。

また、この調査結果をもとに日本養護教諭関係団体連絡会が作成した文部科学大臣宛の要望書「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う養護教諭の複数配置並びにコンピューター環境整備について（要望）」は、1月に文部科学省に持参する予定でしたが、東京都の緊急事態宣言が出されたため見合わせており、状況が落ち着き次第提出する予定です。

1）所属団体：日本健康相談活動学会、日本養護教諭養成大学協議会、日本教育大学協会全国養護部門、一般社団法人日本養護教諭教育学会、全国養護教諭連絡協議会
2）https://jytalc.org/

事務局からのお知らせ

1月7日期限で出された緊急事態宣言ですが、1都3県では延長されたのち3月22日から全面解除となりました（3月22日現在）。ようやく国内でも医療従事者のワクチン接種が始まりましたが、緊急事態宣言解除後のリバウンドや第4波が心配される状況です。本会では、例年4月に9月の総会やセミナー等の企画をし準備を始めます。対面で行う際の会場を予約したものの、早期にオンライン開催に変更すべきか悩ましいところです。なお、3月末で3年間任期の現役員会は終了致しますが次期事務局の変更はございません。引き続き何卒宜しくお願い致します。

【評議員登録・年会費納入について】

なお、このニュースレターに同封して、2021年度の評議員の登録、年会費納入関係のお知らせなどを同封しております。2021年度代表評議員の先生がご確認、ご対応くださいますようお願い致します。なお、評議員の申請は5月29日までに、できるだけ、Web ページから登録していただきますよう、重ねてお願い致します。

会計より

年度末になり、今年度の会計を締める時期となりました。2020年度はコロナ禍の影響を受けて、対面の活動が全くできなかったことから、役員会費・総会費・委員会費など、多くの費目で予算通りの執行ができませんでした。これらの詳細は、9月に行われる2021年度総会にて報告させていただきます。

2021年度の年会費についても納入をお願いします。年度始めの大変お忙しい時期とは思いますが、早めの振込手続きをお願いします。振り込み時には、大学番号（封筒のタックシールに記載）の入力をお願いします。通帳の印字の文字数は12文字以内なので「ガッコウホウジン」とか「ドクリツギョウセイ」など､振り込んだ大学名が特定できないことが多々あります。振り込み担当者に一言、お伝えいただけると助かります。皆様からお預かりした大切な会費を、引き続き大切に使わせていただきます。

（会計担当：下村淳子）

編集後記

新型コロナウイルス感染症に振り回された１年が終わろうとしています。４月からは新たな役員体制となります。これからも、会員校がそれぞれの特色を生かした養護教諭養成を進めていくうえでお役にたてるようニューズレターを編集してまいります。会員校の皆様とさまざまな交流ができますことを願っております。

（広報・渉外委員会 鈴木裕子 亀崎路子）

日本養護教諭養成大学協議会
http://www.j-yogo.jp/

【事務局】女子栄養大学
TEL&FAX：049-282-3609（事務局）
Mail：yogojimu@j-yogo.jp